

令和3年度第2回柏市国民健康保険運営協議会会議録

1 開催日時

令和4年1月13日（木）午後2時から午後4時まで

2 開催場所

柏市柏五丁目10番1号

柏市役所本庁舎3階 庁議室

3 出席者

(1) 委員

百瀬委員，清水委員，坂巻委員，田原委員，長谷川委員，大塚委員，志賀委員，小林委員，谷村委員

(2) 事務局

太田市長，中山市民生活部長，谷口保険年金課長，本郷副参事，有泉副参事，野澤統括リーダー，阿藤統括リーダー（企画管理担当リーダー），入野主任（企画管理担当），横山主事補（同）

4 議題

(1) 令和3年度2月補正予算案及び条例改正案について

(2) 令和3年度柏市国民健康保険事業特別会計決算見込みについて

(3) 令和4年度柏市国民健康保険事業特別会計予算案について

5 議事（要旨）

事務局から資料に沿って説明を行った。これに対する主な質疑内容は次のとおり（（ ）内は発言者）。

（志賀委員）

CKD医療連携システムで紹介され，受診した患者数は。

（有泉副参事）

基幹病院において令和2年度で67名。うち腎専門医基準該当者は13名。

（清水委員）

令和4年度予算について，全体予算約409億円に対し2割程度が保険料で賄われているという理解でよいか。

(阿藤主幹)

おっしゃるとおり。ただし保険給付費に対しては普通交付金が交付される。

国民健康保険事業費納付金については、本来であれば保険料、法定内繰入金、県交付金等で賄われるべきであるが、不足が生じるため基金を取り崩している状況。

(清水委員)

1人当たりの医療費について、令和3年度見込み額が令和元年度決算額から約10%上昇している。一方で前期高齢者の割合はさほど増加していないが、医療費の伸びについてどのように分析しているか。

(阿藤主幹)

新型コロナウイルス感染症感染拡大により生じていた受診控えが、もとの水準に戻りつつあることが影響していると考えます。

(清水委員)

令和4年度予算の推計にもその影響が考慮されているということか。

(阿藤主幹)

おっしゃるとおり。例年は過去3年の平均値等を参考に算出しているが、令和4年度の数値は令和3年度の大幅な伸びに引っ張られている。

医療費に限っては普通交付金が交付されるが、事業費納付金にも直接影響が出るため危機感を持っている。

(清水委員)

今後の収支見込みについて保険料率が3パターン示されているところ、2.61%と5%引き上げた場合のシミュレーションは毎年同率を引き上げた場合、という理解でよいか。

(阿藤主幹)

そのとおり

(清水委員)

全体医療費のうち、昨今増加傾向にある精神疾患の割合は。また、その患者に対する手当をどう考えているか。

(谷口課長)

精神疾患によって仕事を退職された方に対しては保険料を減免している。

(有泉副参事)

精神疾患にかかる医療費は令和元年度で約 16 億 6 千万円で全体の 6.3%程度を占める。

(百瀬会長)

もし柏市の数値が国や近隣市等と比較して特に高いということがあれば、なんらかの対策を講じる必要があるかもしれない。

(百瀬会長)

令和 4 年度の収納率を 90.5%と見込んでいるが、収納率向上のための具体策はあるか。

(谷口課長)

銀行の窓口収納は縮小傾向にあり、柏市もペイジーや LINE Pay の導入など、納付方法の選択肢を広げているところ。

また滞納分の収納については、職員間で経験や知識に差がある点が課題であり、庁内で連携しながら改善していきたい。

(清水委員)

令和 4 年度の保険料率を据え置くことについて、今後の収支見込を考慮すると、このままでは後世に負担を強いることとなる。個人的な意見として医療費を抑制に努めながら保険料率を上げるのはやむを得ないのではないか。

6 傍聴

1 名

令和4年1月13日

柏市国民健康保険運営協議会

会長

百瀬 優